

# 《アンケート用紙》

## 1 男女の平等感について

《全員にお聞きします》

問1. 社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

【あてはまるもの1つに○】

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されている      | 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている | 5. 女性の方が非常に優遇されている      |
| 3. 平等である                | 6. わからない                |

《全員にお聞きします》

問2. 次の各場面および分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

【A～Gの各項目について、あてはまるものを1つに○】

項 目		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
場面	A 家庭	1	2	3	4	5	6
	B 職場	1	2	3	4	5	6
	C 学校	1	2	3	4	5	6
	D 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
	E 政治の場	1	2	3	4	5	6
分野	F 法律や制度	1	2	3	4	5	6
	G しきたりや習慣	1	2	3	4	5	6

《全員にお聞きします》

問2-1. 家庭において、一般的にどのような状態や人が「優遇」されていると思いますか。

【あてはまるものをすべてに○】

※優遇とは家庭内で決定権を持っていることや、希望を通すことができること。

1. 家事や育児などを得意（好き）な人が、家事や育児などを主に担当している状態
2. 家事や育児などを苦手（嫌い）な人が、家事や育児などを主に担当していない状態
3. 家事や育児などの負担が、家庭内で相対的に軽い人
4. 家庭内の役割分担を決めることができる人
5. 家庭内の様々なスケジュールを決めることができる人
6. 家庭内のお金の使い道を決めることができる人
7. 家庭の代表者（世帯主）である人
8. 婚姻後も婚姻前の姓を使用している人
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. わからない

## 2 意思決定の場への女性の参画について

《全員にお聞きします》

問3. 豊橋市では、現在、政策や方針決定の場への女性の参画状況が男性よりも低い状況にあります。その理由は何だと思えますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 家庭・職場・地域における性別による役割分担意識、性差別意識
2. 男性中心の組織運営
3. 女性の能力開発の機会が不十分
4. 女性の活動を支援する体制の不足
5. 女性が積極的ではない
6. 家族の支援・協力が無い
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
8. わからない

### 豊橋市における女性の参画状況（令和6年度）

項目	数値
市の審議会等に占める女性委員の割合	24.0%
市職員の管理職に占める女性の割合	17.8%
学校における女性教員の管理部門（校長・教頭）への登用率	43.2%
自治会長に占める女性の割合	4.0%

### 3 家庭・仕事・地域活動のバランスについて

《全員にお聞きします》

問4. 次のA～Gの項目について、1日の中で平均してどのくらいの時間をあてていますか。

【平日と休日、それぞれについて時間数を記入】

(まったくしない場合は「0」を、30分する場合は「0.5」のように記入してください)

項 目	平 日	休 日
A 仕事（収入の得られる労働）	時間	時間
B 家事（掃除・洗濯・炊事など）	時間	時間
C 子育て（乳幼児から学生まで）	時間	時間
D 介護・看護	時間	時間
E ボランティア・NPO 活動	時間	時間
F 地域活動（自治会の530運動・資源回収など）	時間	時間
G 趣味・レジャーなどの余暇活動	時間	時間

《全員にお聞きします》

問5. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動（※）」の優先度について、

希望に最も近いものはどれですか。【あてはまるもの1つに○】

※個人の活動とは文化活動、学習、趣味、付き合い等のことです。

1. 「家庭」を優先したい
2. 「仕事」を優先したい
3. 「地域・個人の活動」を優先したい
4. 「家庭」と「仕事」をともに優先したい
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先したい
8. わからない

《全員にお聞きします》

問6. 生活の中での「家庭」「仕事」「地域・個人の活動」の優先度について、現在の

状況に最も近いものはどれですか。【あてはまるもの1つに○】

1. 「家庭」を優先している
2. 「仕事」を優先している
3. 「地域・個人の活動」を優先している
4. 「家庭」と「仕事」をともに優先している
5. 「家庭」と「地域・個人の活動」をともに優先している
6. 「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
7. 「家庭」と「仕事」と「地域・個人の活動」をともに優先している
8. わからない

## 4 男女の働き方について

《全員にお聞きします》

問7. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。

【あてはまるもの1つに○】

1. 反対する
2. どちらかといえば反対する
3. どちらかといえば賛成する
4. 賛成する
5. どちらともいえない

《全員にお聞きします》

問7-1. 問7でそう思われるのはなぜですか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親が働いていたから
3. 夫も妻も働いたほうが多くの収入を得られるから
4. 妻が働いて能力を発揮したほうが、本人や社会にとって良いと思うから
5. 夫と妻の固定的な役割分担意識を押しつけるべきではないから
6. 男性は仕事に、女性は家事・育児に向いていると思うから
7. 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから
8. 子どもの頃からそうした教育をされているから
9. 男女の役割をはっきりと分けるほうが仕事も家庭もうまくいくから
10. 社会全体にそうした風潮があるから
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

《全員にお聞きします》

問8. 次のA～Cの項目について、あなたと配偶者・パートナーとどのように家事を分担したいと思いますか。【保育所、訪問介護、家事代行など外部サービスの利用も含め、あなたの気持ちに最も近いもので各項目あてはまるものを1つに○】

なお、配偶者・パートナーがいる、いないにかかわらず、育児・介護・家事をしている、していないにかかわらず、お答えください。

項 目	外部サービスは利用せず			外部サービスを利用しながら		
	自分と配偶者 で半分ずつ 分担	自分の方が 配偶者より 多く分担	配偶者の方が 自分より 多く分担	自分と配偶者 で半分ずつ 分担	自分の方が 配偶者より 多く分担	配偶者の方が 自分より 多く分担
A 育児	1	2	3	4	5	6
B 介護	1	2	3	4	5	6
C その他の家事 (洗濯、掃除、炊事など)	1	2	3	4	5	6

《全員にお聞きします》

問9. 男性が育児や介護で休みをとることについて、どのように思いますか。

【あてはまるもの1つに○】

- |                        |   |          |
|------------------------|---|----------|
| 1. 休みを積極的にとったほうがよい     | } | ➔ 問10 へ  |
| 2. どちらかという、休みをとったほうがよい |   |          |
| 3. どちらかという、休みをとる必要はない  | } | ➔ 問9-1 へ |
| 4. 休みをとる必要はない          |   |          |
| 5. わからない               | } | ➔ 問10 へ  |

《問9で「3.どちらかという、休みをとる必要はない」、「4.休みをとる必要はない」と回答した方にお聞きします。》

問9-1. 問9でそう思われるのはなぜですか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 職場の理解が得られないから
2. 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
3. 取得後の職場復帰への不安があるから
4. 仕事の量や責任が大きいから
5. 休業補償が十分ではなく、家計に影響するから
6. 女性のほうが育児・介護に向いているから
7. 男性自身に「恥ずかしい」「プライドが邪魔をする」などの気持ちがあるから
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. わからない

《全員にお聞きします》

問10. 女性が仕事をするることについて、どのように思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 子どもができれば産休・育休・時短勤務などを利用して、仕事をずっと続けるのがよい
2. 子育てを機に退職し、子どもが成長したらフルタイムの仕事に就くのがよい
3. 子育てを機に退職し、子どもが成長したらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲を超える）で仕事に就くのがよい
4. 子育てを機に退職し、子どもが成長したらパートタイム（社会保険料等の扶養の範囲内）で仕事に就くのがよい
5. 子どもができるまでは仕事をするのがよい
6. 結婚するまでは仕事をするのがよい
7. 女性は仕事をしない方がよい
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. わからない

《全員にお聞きします》

問1 1. 働くことを希望する女性が働き続けるために、家庭、仕事、地域などで何が必要だと思いますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 保育園や児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2. 介護サービスの充実
3. 家事・育児などの支援サービス
4. 男性の家事などへの参加
5. 男性が時短勤務及び育児休業などの制度を利用できる職場環境
6. 女性が働き続けることへの理解や意識改革
7. 長時間労働に対する職場環境の改善
8. 育児や介護を両立できる職場支援
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. わからない

《全員にお聞きします》

問1 2. 結婚や出産、育児を理由に仕事を辞める女性がいます。  
離職した女性が、再び社会で活動することを希望する場合にどんな活動をすると思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 正社員として再就職する
2. パート・アルバイトなどに再就職する
3. ボランティアやNPO活動で地域に貢献する  
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など)
4. NPO等の立上げを行う（ボランティア団体設立など）
5. 起業する（会社、小売店の経営や作家など自由業）
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
7. わからない

《全員にお聞きします》

問1 2-1. 結婚や出産、育児を理由に仕事を辞める女性がいます。  
離職した女性が、再び社会で活動することを希望する場合に何を重視すると思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. これまでの知識や経験を生かし活動することを重視する
2. 新たな技能・スキルの資格を取得して活動することを重視する
3. 活動と家事・育児・介護の両立のしやすさなどを重視する
4. 活動する時間や場所を重視する
5. 特に重視するものはない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
7. わからない

《全員にお聞きします》

問13. 結婚した際の夫婦の名字（姓）について、現在は必ず同じ名字（姓）を名乗らなければならないことになっていますが、『夫婦が同じ名字（姓）を名乗ることのほか、夫婦が希望する場合には、それぞれの婚姻前の名字（姓）を名乗ることができるように法律を改めた方が良い』（選択的夫婦別姓）という意見があります。  
このことについてあなたはどのように思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 夫婦が希望している場合、それぞれ婚姻前の名字（姓）を名乗ることができるよう、法律を改めた方が良い
2. 夫婦は必ず同じ名字（姓）を名乗るべきであり、法律を改めない方が良い
3. わからない

《全員にお聞きします》

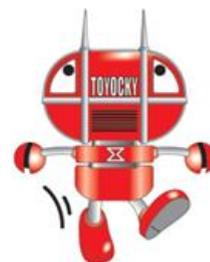
問13-1. あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字（姓）が変わったとした場合、働くときに旧姓を使用したいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 旧姓を使用したいと思う
2. 旧姓を使用したいと思わない
3. わからない

《全員にお聞きします》

問14. 豊橋市から若い世代が大都市圏へ流出する状況が進んでいます。その理由について、どのように思いますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 希望する仕事や勤め先がない
2. 給与水準の高い仕事がない
3. 希望する進学先（学部・学科）がない
4. 買い物環境に不満足
5. 娯楽・レジャー施設に不満足
6. 仕事における男女役割分担意識が根強く残っている
7. 家庭における男女役割分担意識が根強く残っている
8. 地域における男女役割分担意識が根強く残っている
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. わからない



残り半分です♪

引き続きアンケートへのご協力をお願いします♪

## 5 子どもへの男女共同参画教育について

《全員にお聞きします》

問15. 子育ての方針について、どのように考えますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重するのがよい
2. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい
3. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
4. わからない

《全員にお聞きします》

問16. 男女共同参画社会実現のために、学校教育の場で何が重要だと思えますか。

【あてはまるものをすべてに○】

1. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
2. 男女の性の違いについての学習を充実する
3. 性の多様性（LGBT等性的少数者等）に関する学習を充実する
4. 進路指導において、男女の別なく能力を生かせるよう配慮する
5. 教員の男女平等意識が高まるよう研修会を実施する
6. 管理職（校長や教頭）に女性を増やしていく
7. 学級委員などの選出で会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子といった性別役割分担意識をなくす
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. わからない



《全員にお聞きします》

問17. 例えば、大学の理学部・工学部に進学する女性は男性より少ない、看護学部・文学部に進学する男性は女性よりも少ないという現状があることがわかっています。

進路選択の一例としてこのような状況がありますが、あなたは、一般的に進路選択に影響を与えるのは次のうちどれだと思いますか。

A **人物** 進路選択に影響を与えるのは次のうちどんな【人物】だと思いますか。

【もっともあてはまると思うもの1つに○】

1. 母親
2. 父親
3. 兄弟姉妹
4. 祖父母
5. その他の家族・親族
6. 友人や先輩
7. 学校の先生
8. 塾や習い事など、学校以外の先生
9. 1～8以外の身近で働いている人
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

B **経験・媒体** 進路選択に影響を与えるのは次のうちどんな【経験・媒体】だと思いますか。【もっともあてはまると思うもの1つに○】

1. 学校での職場体験
2. 学校での進路指導
3. 家庭内での話し合い
4. 地域社会での体験
5. 本、漫画、テレビやアニメ
6. インターネットやSNS
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 6 配偶者等からの暴力について

④ DV（ドメスティック・バイオレンス）とは・・・

配偶者など親密な関係にある相手から受ける暴力のことで、身体的な暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さないなどの精神的・経済的な暴力もDVに含まれます。

《全員にお聞きします》

問18. これまでに、あなたの配偶者や交際相手から、次のような行為（DV）を受けた経験がありますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
2. 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた
3. 髪をひっぱる、物をなげつける、はたくななどの暴力を受けた
4. いやがっているのに性的な行為を強要された
5. 避妊をしない性行為を強要された
6. 見たくないのに、ポルノ（アダルト）ビデオや雑誌を見せられた
7. 何を言っても無視され続けた
8. 交友関係や電話、メール、SNSを細かく監視された
9. 「誰のおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた
10. 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれたりした
11. 生活費を渡さないなど、経済的に抑えつけられた
12. その他（具体的に：
13. 今までなかった

→ 問18-1へ

→ 問19へ

《問18で、1から12を選んだ方にのみお聞きします》

問18-1. これまでに配偶者や交際相手から受けた行為（DV）について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 家族に相談した
2. 友人・知人に相談した
3. 行政機関に相談した  
(愛知県女性相談センター、豊橋市DV相談、市役所、ほいっぷ など)
4. 警察に連絡・相談した
5. 弁護士に相談した
6. 医師に相談した
7. 民間のカウンセリングルームに相談した
8. その他（具体的に：
9. 誰にも相談しなかった

→ 問19へ

→ 問18-2へ

《問18-1で「9. 誰にも相談しなかった」と答えた方のみお聞きします》

問18-2. 誰にも相談しなかった理由は何ですか。【あてはまるものをすべてに○】

1. どこ（誰）に相談してよいのか分からなかったから
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3. 電話や対面では相談しにくいから（メール、LINE等のSNSがあれば相談できる）
4. 行政機関等の相談時間が合わないから
5. 相談しても解決できないと思ったから
6. 自分さえ我慢すればよいと思ったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 自分にも悪いところがあると思ったから
10. 相談するほどのことでもないと思ったから
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

《全員にお聞きします》

問19. 配偶者や交際相手からの暴力（DV）を防止するために何が必要だと思えますか。

【あてはまるものをすべてに○】

1. 家庭で子どもに対し、小さいころから暴力はいけないことだと教える
2. 学校・大学内で暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 警察や医療関係者などに対し、研修や啓発を行う
7. 暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネットなど）を規制する
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
11. わからない

《全員にお聞きします》

問20. 豊橋市にDV相談（電話相談・面接相談）があることを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

☞豊橋市DV相談とは・・・

豊橋市は、DVの被害者にとって身近で安心して相談できる窓口として、女性相談員による相談窓口を開設しています。

電話相談	0532-33-9980 面接相談の予約は電話相談の	月～金曜日 9:00～15:00	祝休日・第3月曜日・年 末年始を除く
面接相談 （予約制）	実施時間と同時間帯に受付	火、水、木曜日 9:30～15:30	祝休日・年末年始を除く

## 7 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」について

《全員にお聞きします》

問21. 豊橋市男女共同参画センター「パルモ」を知っていますか。

1. 知っているし、利用したことがある

→ 問21-1へ

2. 知っているが、利用したことはない

3. 知らない

→ 問22へ

☞豊橋市男女共同参画センター「パルモ」とは・・・

ライフポートとよはし内にある男女共同参画推進のための拠点施設です。さまざまなテーマの講座や女性のための相談事業などを行っています。また、定員100名の研修室をはじめ図書室、調理実習室、美術工芸室、フィットネスルームなどを備え、女性だけでなく男性や企業の方にもご利用いただける施設となっています。

《問21で「1. 知っているし、利用したことがある」「2. 知っているが、利用したことはない」と答えた方のみお聞きします》

問21-1. 今後、男女共同参画センターの事業として、どんなことを充実してほしいと思いますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 女性のための講座・催し物

2. 男性のための講座・催し物

3. 性の多様性に関する講座・催し物

4. 家族と一緒に参加できる講座・催し物

5. 事業の企画・運営などを市民とともに行う市民参画型の講座

6. 特定のテーマを幅広く学ぶための短期講座

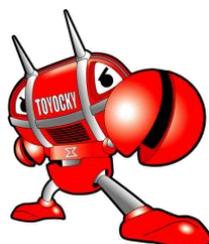
7. 特定のテーマを専門的に学ぶための長期講座

8. 情報収集・発信設備、図書の充実

9. その他（具体的に：

）

10. 特になし



あと残りもう少しです♪

## 8 男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会について

《全員にお聞きします》

問22. 次の用語について知っていましたか。

【A～Iの各項目について、あてはまるものを1つに○】

項目	言葉も内容も知っていた	言葉だけは知っていた	知らなかった
A ジェンダー	1	2	3
B ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
C アンコンシャス・バイアス	1	2	3
D デートDV	1	2	3
E 困難女性支援法	1	2	3
F SOGI	1	2	3
G 性的指向・性自認	1	2	3
H LGBT等性的少数者	1	2	3
I パートナーシップ・ファミリーシップ制度	1	2	3

### 【ジェンダー】

生物学的な性別に対し、社会的・文化的につくられる性別のことで、男らしさ、女らしさといった言葉で表現されるものです。

### 【ワーク・ライフ・バランス】

やりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できることです。実現のためには、働き方などを見直していく必要があります。

### 【アンコンシャス・バイアス】

誰もが潜在的に持っている思い込みのことです。育つ環境、所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となっていくます。

### 【デートDV】

特に交際中の相手から受ける暴力のことで、高校生、大学生など若年層の間にも被害が及んでいます。メールを頻繁に送るなど恋人を監視、束縛する行為もデートDVです。

### 【困難女性支援法】

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」のことです。「女性の福祉」、「人権の尊重や擁護」、「男女平等」といった視点に立ち、困難な問題を抱える女性一人一人のニーズに応じて、本人の立場に寄り添って、切れ目のない包括的な支援を行うことを規定しています。

## 【SOGI】

性的志向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった言葉で、どんな性の人を好きになるか (好きにならない も含みます)、また、自分がどんな性だと感じるか (特定の性と感じない も含みます)、ということです。全ての人を対象としている言葉です。

## 【性的指向・性自認】

「性的指向」は、自己の恋愛や性愛の対象となる性別についての指向を指します。また、「性自認」は自己の性別についての認識を指します。性の要素はそれぞれ独立していて、その組み合わせによって、様々なセクシュアリティ (性のあり方) が形づくられます。

## 【LGBT等性的少数者】

性の在り方が典型的な男女とは異なる人々の総称。LGBTとは、「L」を女性同性愛者 (レズビアン)、「G」を男性同性愛者 (ゲイ)、「B」を両性愛者 (バイセクシャル)、「T」を自らの性同一性 (心と身体) に違和感を感じる者 (トランスジェンダー) としてそれぞれの頭文字で示した言葉であり、それ以外にも性的少数者は存在します。

## 【パートナーシップ・ファミリーシップ制度】

お互いを人生のパートナーとし、日常生活で互いに協力し合うことやパートナーであることを誓う2人 (一方又は双方が性的少数者である2人や、その他様々な事情により婚姻制度等を利用することができない又は利用しない2人をいう。) の関係や、その2人の一方又は双方の子をはじめとする三親等内の近親者等との関係を市が証明する制度です。

## 《全員にお聞きします》

問23. 男女共同参画社会の実現のために、行政 (国・県・市) はどのようなことに力を入れればよいと思いますか。【あてはまるものをすべてに○】

1. 男女平等を目指した法律・制度の見直しを行う
2. 女性の政策決定の場への積極的な登用や各種団体の女性リーダーを養成する
3. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知啓発を行う
4. 女性の採用拡大や業務範囲拡大、再就職支援につながる取組 (資格取得支援など) を進める
5. 労働時間の短縮や在宅勤務など、男女共に働き方の見直しが進むようワーク・ライフ・バランスの啓発を行う
6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
7. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
8. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する
9. 配偶者・交際相手からの暴力を根絶するための取組を進める
10. その他 (具体的に： )
11. わからない

## 9 あなた自身のことについて

※アンケートを統計的に分析するために、令和7年8月1日現在の状況をご回答ください。

A あなたの性別について教えてください。【あてはまるもの1つに○】

1. 男性	2. 女性	3. その他 ( )
-------	-------	------------

B あなたの年代（年齢）を教えてください。【あてはまるもの1つに○】

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	

C あなたの職業は、次の中のどれにあたりますか。【あてはまるもの1つに○】

(2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。)

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	無職・学生
1. 農林漁業	8. 会社代表・役員など	14. 専業主婦・専業主夫
2. 工業	9. 正社員・正職員（管理職）	15. 学生
3. 建設業	10. 正社員・正職員（管理職以外）	16. その他（年金生活者、失業中の方など）
4. サービス業	11. 派遣・契約社員	
5. 自由業（作家、芸術家など）	12. パートタイム・アルバイト	
6. 上記「1～5」の家族従業者	13. その他 ( )	
7. その他 ( )		

D あなたの希望する職業は、次の中のどれにあたりますか。【あてはまるもの1つに○】

(学生の方は卒業後に希望する進路をお答えください。)

自営業・自由業	会社・組織へ勤務	その他
1. 農林漁業	8. 会社代表・役員など	14. 専業主婦・専業主夫
2. 工業	9. 正社員・正職員（管理職）	15. その他 ( )
3. 建設業	10. 正社員・正職員（管理職以外）	
4. サービス業	11. 派遣・契約社員	
5. 自由業（作家、芸術家など）	12. パートタイム・アルバイト	
6. 上記「1～5」の家族従業者	13. その他 ( )	
7. その他 ( )		

E あなたに配偶者はいますか。【あてはまるもの1つに○】

1. いる（事実婚や別居中を含む）	2. いない（死別や離婚を含む）
-------------------	------------------



《Eの質問で「1. いる（事実婚や別居中を含む）」と答えた方にのみお聞きします》

E-1 あなたと配偶者の方は、共働きをしていますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 共働きをしている（2人とも正社員）	2. 共働きをしている（一方が正社員）
3. 共働きをしている（2人とも正社員ではない）	4. 共働きをしていない

F あなたの世帯の家族構成はどれに該当しますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ（一世代家族）
3. 親と子（二世代家族）	4. 親と子と孫（三世代家族）
5. その他（具体的に：	）

《自由意見》

■その他、男女共同参画及び性の多様性に関して、ご意見をお書きください

質問は以上です。ご協力ありがとうございました♪

この用紙は返信用封筒に入れて、令和7年9月1日(月)までにポストに投函してください。

※Webで回答した場合は、このアンケート用紙の投函は不要です。